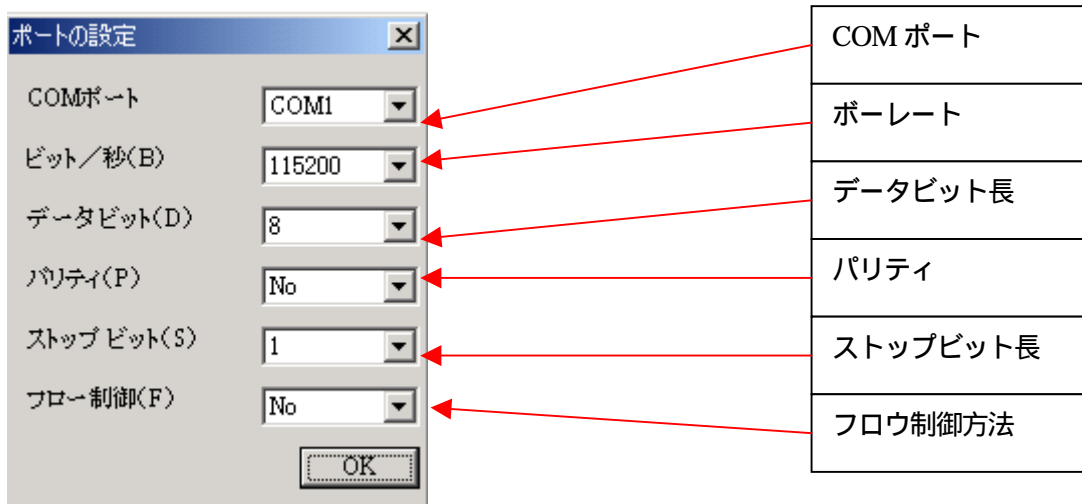
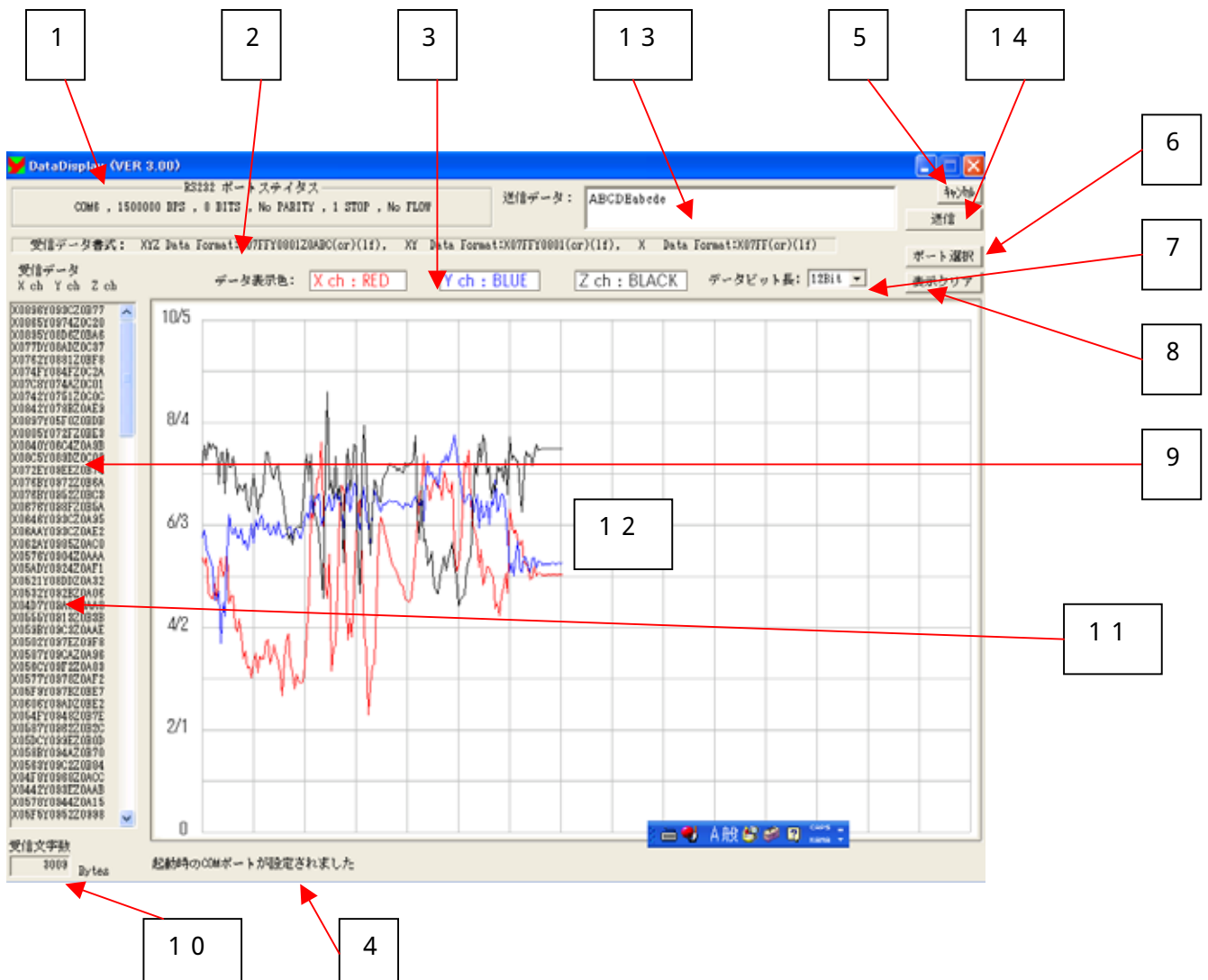


0. このプログラムを起動すると下記のダイアログが表示されます。これは起動時に初期化ファイル「rs232c.ini」から読み込まれます。5. のキャンセルボタンを押下して終了すると現状の設定が保存され、次に起動した時も同じ COM ポートの設定が反映されます。このファイルは「」DataDisplay.exe」のあるホルダにあるので消さないで下さい。



設定が「OK」であれば OK ボタンを押下すれば下の画面に移りますが、その設定ができなければ4. のような表示やメッセージボックスでの指示がありますので、その内容に従い正しい設定をしてください。



1. COM ポートの状態を表示します。

2. COM ポートに UART から送られるデータフォーマット（書式）の形です。これは、COM ポート経由で相手から送られてくるデータが最大でも 16 ビットであることを想定しています。その 16 ビットが

X01DF<cr><lf>の場合は赤色のグラフだけが表示され、

X01DF Y01DF <cr><lf>の場合は赤色と青色のグラフだけが表示され、

X01DF Y01DF Z01DF <cr><lf>の場合は赤色と青色と黒色のグラフが表示されます。

送信側で送ることが出来るデータフォーマット（書式）はこの形式で固定されています。それ以外は受信データの中には表示されますがグラフ表示はできません。つまり、オシロの 3 チャンネル表示のようなイメージです。

3. X、Y、Z のデータがどのような色に表示されるかを示している表示色の情報です。

4. COM ポートのポート番号やボーレートをコンボボックスで選択すると出力されるメッセージです。

5. このプログラムの終了です。この時も 8. のクリア動作と同じ動作が内部でなされますので受信データは保存されます。

6. このボタンは、このソフトが動作中に COM ポートの設定を変えたい場合に使用します。起動時の 0. の画面が表示されますので起動時と同じように設定します。

7. 11. の説明にも関連しますが相手から送られてくるデータは最大で 16 ビットを想定しています。そのうちで有効になるビット数の指定です。

8 Bit, 10 Bit, 12 Bit, 14 Bit, 16 Bit

の選択が可能です。これは色々な ADC の分解能にあわせるために用意しました。

8. この「クリア」ボタンを押下すると 8. の内容がクリアされてそれが、DATALOG ホルダ内に保存されます。ファイル名は下記のように日時と時間が反映したファイル名になります。

COM2_2008_6_21_11_5_DataLogger.txt

この例では COM ポート 2 の 2008 年 6 月 21 日 11 時 5 分にファイルされたことを示します。ファイル名が分単位ですので、同じ時間（1 分以内）でこの操作をすると前のデータに今の内容が追加された形で保存されます。

9. COM ポートで受信したデータの表示です。受け取ったデータは何でも ASCII 表示表示されますが ASCII 化できない文字（8 ビット）は不明な文字表示になります。

10. この表示は受信した文字数（バイト）です。「クリア」ボタンを押下するとクリアされます。

11. 受信データです。この送り側のフォーマットは HEX 表示で

X01FDYAD13<cr><lf> （*<cr><lf>：キャリッジリターンとラインフィード）

です。この 01FD と AD13 が受信されたデータの中身です。このフォーマットに合致したものが X channel と Y channel に表示されます。

X channel ... X01FD

Y channel ... YAD13

Z channel ... ZAD13

に対応します。

12. X channel Y channel Z channel ... X01FD のグラフィック表示です。

13. これは相手にデータを送る必要がある場合に、送るデータを入力するエディットボックスです。何文字でも入

力可能です。

1 4 . 1 3 . で入力したデータを送信する送信ボタンです。

以上